

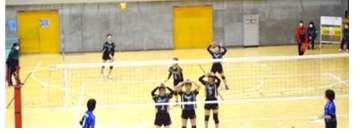
飛翔 2021



大野高校通信

発行責任者: 校長 北田 義徳

「食欲の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」等々、さまざまに表現されるこの季節。自然豊かなこ大野の里も、紅葉を始め、景色は秋一色となりました。巷ではコロナの第5波が収束し、約2か月が経ちましたが、学校では引き続き感染拡大に警戒しながら、行事を行っているところです。今月は「収穫祭」「大野高祭」「新人大会」をはじめ、各種行事の様態を報告します。



★ 今年も松茸5本（収穫祭：里山整備事業）

9月28日(火) 穏やかな天候の下、収穫祭が予定どおり行われました。そして今年も新聞、テレビ等のニュースで取り上げられました。なお、収穫した

「秋の味覚」は大野高祭で堪能しました。

(左) 9月30日付け岩手日報

(右) 10月5日付けテレーノ東北

岩手県北

岩館勝男さん(右)の助言を受けながら、マツタケを収穫する生徒



岩手県大野高(北田 義徳校長)は9月28日、同校が整備する洋野町久慈平岳の中腹で里山づくり収穫祭を行った。全校生徒69人が注意深く足元を探し、合計5本のマツタケを収穫。「見つけた」という歓声が山中に響き渡った。同校による里山整備は2005年から実施。今年6月に生徒が落ち葉や下枝を集めてアカマツ

「マツタケ見つけた！」

洋野

の根の風通しを良くし、マツタケが育ちやすい環境をつくった。

岩泉まつたけ事業協同組合(岩泉町)まつたけマイスターの岩館勝男さんが生徒に姿勢を低くして探すようアドバイス。マツタケが山や森の宝石とも称されることから、かさなどが崩れないように大切に扱うことも伝えられた。

大野高生 久慈平岳で里山づくり収穫祭

大きく香りの良いマツタケを発見した、2年の小村峰(さん16)と上小路利音(さん17)は「夏に丁寧に整備したかがある。絶対に採りたい」と意気込んでいたのうれしさと喜び合った。収穫したマツタケは10月中旬の文化祭で、まつたけご飯にして生徒に提供される予定。(佐々木拓也)

待望 マツタケあった！ 大野高生が収穫

大野高(北田義徳校長、生徒69人)の全校生徒は28日、洋野町の久慈平岳で恒例のマツタケ狩りを行い、里山の恵みを実感した。生徒たちはアカマツが生える急斜面を慎重に上り、木の根元周辺や枯れ葉の下などを注意深く観察。待望のマツタケを発見すると「あった」と歓声を上げた。この日は5本を収穫。昨年

12本には及ばなかったが、柄とかがさが15センチほどに成長した大型のマツタケを発見した繁真帆さん(2年)は「こんなに大きいマツタケが生えていてびっくり。来年はたくさん採りたい」と喜んだ。同校は毎年6月に落ち葉や枝の除去を行い、マツタケが生育しやすい環境を整えている。10月15、16日の文化祭でまつたけご飯にして味わう。



大きなマツタケを発見し喜ぶ大野高の生徒

★ 大野高祭2021 (テーマ「EMOTION～想像を形に～」) 無事開催♪

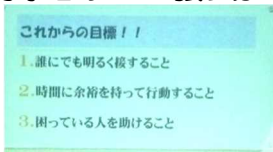
10/15.16 に、大野高祭を開催しました。今年度は同居家族等の関係者に、体調チェックシートを提出していただき公開しました。生徒は、久しぶりの公開行事とあって、張り切って模擬店や出し物の勧誘をしていました。



大野小学校さんに感謝



1年「大野の未来を考えよう」



2年「将来への第一歩」



高大連携「福祉でまちづくり」



吹奏楽部演奏会



クラスビデオ上映



クラスバトル1年



クラスバトル2年



クラスバトル3年



イントロ当てクイズ～カラオケ



1年行者にんにく唐揚げは売完



2年縁日&マジックショー



雨天のため模擬店は屋内に



松茸おにぎりを来場者に配付



エンタイングセレモニー

★ 部活動各種大会の結果

【卓球】・県ジュニア卓球選手権 9/25 (紫波町)
1回戦 3対2 盛岡工 2回戦 1対3 盛岡市立
・県高校新人大会10/22～24 (奥州市)
2回戦 2対3 一関二
【バスケット】(予定)
・地区高校新人大会10/30～31(久慈市)

【バレー】・選手権大会地区予選
リーグ戦 0対2 久慈高
0対2 久慈東
【ソフトテニス男子】
・県高校新人大会10/9 (北上市)
1回戦 0対2 前沢



★ 学校の様子 (9月末～10月の校内行事から)

第2回登校指導(9/28)

PTA 交通安全委員と生徒会交通安全委員による今年度第2回の登校指導を実施しました。ご協力いただいた3名の保護者の皆様、お仕事や家事でお忙しい中、生徒に爽やかな挨拶と、交通安全を呼びかけていただき、ありがとうございました。



全校集会「女子の制服について」(9/28)

本校では、10/1の衣替えを機に、女子のスラックスを制服の一つとして導入します。社会の多様性やジェンダーレスの観点から、また、自転車・バイクでの通学時や防寒対策として意義があると考えています。なお、スラックスの場合、リボンとネクタイを選択できます。



月例集会(10/1)

職員講話として、今回は数学の黒澤先生から、①自分のために夢を持つこと、②人のために仕事をする、③知識を一生かけて身につけることの大切さが語られました。また、生徒会長からは、「めりはりのある生活を心がけよう」という月間目標が示されました。



芸術鑑賞会(10/22)

「岩手県文化芸術による子供育成総合事業」の一環として、種市高校と合同で芸術鑑賞会を開催しました。今年は、「黒澤博幸三弦アンサンブル」による津軽三味線の生演奏を堪能しました。普段なかなか聞くことのない三味線の迫力に魅了されたひとときでした。



おおのの未来を考えよう (1学年総合的探究中間発表会) 10/7 (木)

【助言者】 ※順不同

北三陸ファクトリー 取締役	眞下 美紀子 様
ローカルコミュニケーター	千葉 桃子 様
おおのミルク工房 専務取締役	浅水 巧美 様
おおのふるさと公社 事務局長	川村 功 様
きこりんファーム 代表	間澤 智子 様

【① 班名 ② テーマ ③ 提言 ④ 助言者から】

【その1】① 情報発信班

- ② 「地元の人でも気づかないような大野の魅力を発信して地域活性化する」
- ③ ・Instagramでの情報発信 ・チラシでの情報発信
- ④ 「順序よくわかりやすい発表でした！」
・「若者向けと高齢者向けに媒体を使い分けるのがよい。」

【その2】① おおのキャンパス班

- ② 「大野の魅力増大計画」
- ③ ・アスレチックを作ろう ・映えスポットを作ろう
・SNSや動画で画像を発信しよう
- ④ 「大野の現状分析がしっかりできてよかったです！」
・「『魅力増大』というワードがキャッチーでよかった。」
・「『世代に関係なく遊べる』という視点は、人口減少の中、世代間交流を支える大切な社会貢献！」

【その3】① 地域連携班

- ② 「スポーツイベント」
- ③ ・大野高校学年対抗親子レクの開催
・はじめの一步！ 地域スポーツ大会
- ④ 「『行政に頼らず』というポイントがよかった。」
・「大野の連携を『スポーツ』という観点から分析していたのが面白かったです。」



【その4】① おおのミルク工房班

- ② 「大野の牛乳を使って地域を活性化させよう！！」
- ③ ・行者にんにくソフトクリーム ・新しい味のヨーグルト
- ④ 「商品開発だけでなく、様々な連携の提案があつてよかった。」
・「ただ『おいしい』ではなく、味のミクスチャー(混合)がどんな効果を生むかを具体的に伝えているのは素晴らしい。」
・「[にんにく+ソフト]→一見ぎょっとするものが一周まわって魅力に転じる可能性はある。」

【その5】① 行者にんにく班

- ② 「大野の特産をPR」
- ③ ・行者にんにく唐揚げ
- ④ 「私が洋野に来てから知った食の魅力がたくさんあります。行者にんにくは町内でも知らない人もいるので、これを機に知ってもらいたいですね！唐揚げ食べたいです…!!」
・「本当にすぐ実行する！という点がとても良い。」



★今後の主な予定(11月～12月)

11/1(月) 学校安全の日
11/4(木)～9(火) 後期中間考査
11/10(水)～16(火) 読書週間④
11/16(火) 自動車学校通学許可証交付式
11/19(金) スクールカウンセラー来校日
11/26(金) バレーボール地区新人大会(野田村)
11/26(金)～27(土) 3年全統プレ共通テスト

12/14(火)～16(木) 三者面談
12/15(水) 2年 GTEC
12/24(金) 終業式
12/26(日)～28(火) 3年進学課外
12/29(水)～1/3(月) 学校閉庁日
※ 諸般の事情により、急遽、中止、または日程・内容の変更を行うことがありますのでご了承ください。